

2024年
令和6年11月 No. **183**

令和6年9月定例会	…2
予算特別委員会	…3
決算特別委員会(令和5年度決算)	…4
総務常任委員会／産業建設常任委員会	…6
子ども議員が日頃の疑問を問う	…9
町政を問う(9人が一般質問)	…13
多賀町議会議員の活動報告	…18
もっと知りたい! 調べて! 議員さん!	…20

こんにちは 議会です!!



表紙写真:多賀小学校、大滝小学校、多賀中学校から選ばれた子ども議員が日ごろ思っている素朴な疑問を質問。(▶P9参照)

令和6年9月定例会

9月3日～9月27日

9月定例会は、諮問3件・同意1件・報告1件・議案7件・認定12件と追加議案1件を審議

諮問

①②③人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

- ① 藤澤 道子(再任)
② 多賀 節子(再任)
③ 桂 富江(再任)

すべて適任

同意

①多賀町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
小財 憲司(再任)

同意

報告

①令和5年度多賀町の財政の健全化判断比率および資金不足比率の報告について

結果：健全財政を維持

異議なし

議案

①多賀町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

理由：令和6年12月2日から被保険者証が廃止に伴うもの。

可決

②多賀町使用料および加入金の徴収に関する条例の一部を改正する条例について

理由：結いの森公園の共用開始に当たり、多賀町都市公園条例に使用料を定めるもの。

可決

③令和6年度多賀町一般会計補正予算(第3号)について

予算特別委員会に付託▶P3参照

可決

④令和6年度多賀町国民健康保険特

別会計補正予算(第2号)について

可決

内容：歳入歳出それぞれ765万円を追加し、9億7061万円とする。

⑤令和6年度多賀町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

可決

内容：歳入歳出それぞれ668万円を追加し、8億6784万円とする。

⑥令和6年度多賀町水道事業会計補正予算(第1号)について

可決

内容：収益的支出の補正、1076万円を増額し、3億2333万円とする。

⑦令和6年度多賀町下水道事業会計補正予算(第1号)について

可決

内容：資本的収入に180万円を増額し1億4570万円とし、資本的支出に300万円を増額し3億1047万円とする。

認定

①令和5年度多賀町一般会計歳入歳出決算の認定について

決算特別委員会に付託▶P4・5参照

認定

②令和5年度多賀町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

総務常任委員会に付託▶P6参照

認定

③令和5年度多賀町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

総務常任委員会に付託▶P6参照

認定

④令和5年度多賀町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

総務常任委員会に付託▶P6参照

賛成多数

⑤令和5年度多賀町育英事業特別会

計歳入歳出決算の認定について

認定

⑥令和5年度多賀町多賀財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について

認定

⑦令和5年度多賀町大滝財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について

認定

⑧令和5年度多賀町霊仙財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について

認定

⑨令和5年度多賀町びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理特別会計歳入歳出決算の認定について

産業建設常任委員会に付託▶P6参照

認定

⑩令和5年度多賀町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

産業建設常任委員会に付託▶P6参照

認定

⑪多賀町水道事業会計の利益の処分および令和5年度決算の認定について

産業建設常任委員会に付託▶P6参照

認定

⑫令和5年度多賀町下水道事業会計決算の認定について

産業建設常任委員会に付託▶P6参照

認定

追加案件

①令和6年度多賀町一般会計補正予算(第4号)について

可決

内容：歳入歳出それぞれに780万円を追加し、58億2035万円とする
国庫交付金630万円(物価高騰対策として、非課税世帯と均等割のみ課税世帯合計63世帯に10万円支給
一般財源より、町税過年度還付金に150万円充当する。

予算特別委員会

9月13日

令和6年度多賀町一般会計補正予算(第3号)について

歳入歳出の総額に、それぞれ9864万円を追加し、58億1255万円とする。

主な予算項目

項	目	金	額
総	務	費	2011万円
民	生	費	2881万円
衛	生	費	1150万円
農	林	水	産
費			217万円
商	工	費	9万円
土	木	費	2180万円
消	防	費	302万円
教	育	費	1115万円

主な内容(抜粋)

総務費

定額減税給付事業にかかる経費	2011万円
----------------	--------

民生費

児童手当の高校生世代までの制度拡充に伴う経費	2601万円
保育園・子ども園費で早朝・延長保育にかかる保育補助業務委託料の追加、私立保育園の食糧物価高騰対策補助金等保育所関係	190万円

南後谷急傾斜地工事現場



衛生費

粗大ごみ処理費用	950万円
樋田・大杉地区の2か所における合併処理浄化槽の設置補助金	200万円

農林水産費

そばの作付け面積が増えたことによる環境保全型農業直接支払交付金	25万円
高取山ふれあい公園施設改修費や林道維持補修費	192万円

商工費

多賀大社周辺の観光客誘導用看板設置費	9万円
--------------------	-----

土木費

町道小森池線、町道四手多賀北線の補修工事費	600万円
町内通学路の安全対策工事費	80万円
南後谷地区の急傾斜地崩壊対策工事費等	1500万円

消防費

消防団員退職報償金5人分	302万円
--------------	-------

教育費

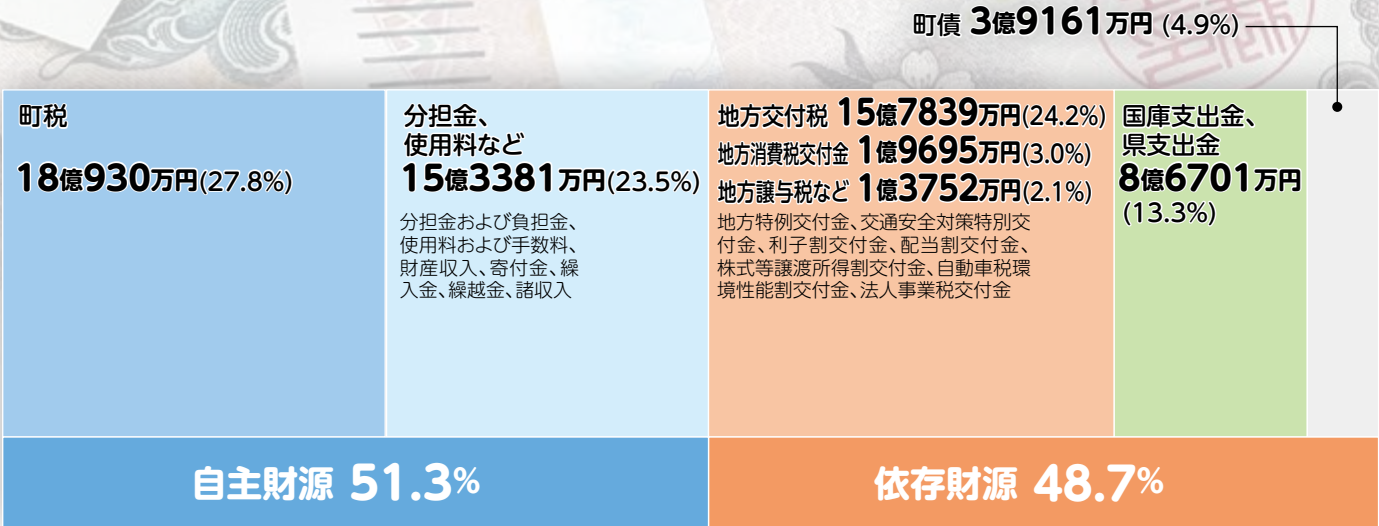
令和7年度多賀小学校の教室数の増加、児童数の増加に伴う各備品・教材費や多賀小学校のトイレ洋式化に向けた設計費等	997万円
多賀中学校の体育館放送設備更新費	49万円
国スポに向けたモルック推進費	48万円
文化財調査補助員の費用	21万円

多賀小学校洋式化



令和5年度決算を審査・可決

一般会計歳入



歳入の構成

自主財源 51.3%	
町 税	18億 930万円 1295万円増
分担金および負担金	2764万円 172万円減
使用料および手数料	994万円 9万円増
財 産 収 入	343万円 670万円減
寄付金（ふるさと納税ほか）	2億7160万円 1億8592万円増
繰 入 金	1億9225万円 2億6903万円減
繰 越 金	7億 899万円 4億 632万円増
諸 収 入	3億1965万円 1318万円減
合 計	33億4311万円 3億1465万円増

依存財源 48.7%	
地 方 交 付 税	15億7839万円 2049万円増
地 方 消 費 税 交 付 金	1億9695万円 669万円減
地 方 譲 与 税	6780万円 38万円増
地 方 特 例 交 付 金	1507万円 131万円減
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	72万円 21万円減
利 子 割 交 付 金	41万円 8万円減
配 当 割 交 付 金	594万円 102万円増
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	652万円 262万円増
自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	813万円 113万円増
法 人 事 業 税 交 付 金	3293万円 1978万円減
国 庫 支 出 金	5億4731万円 1億4310万円減
県 支 出 金	3億1970万円 919万円減
町 債	3億9161万円 3082万円減
合 計	31億7217万円 1億8484万円減

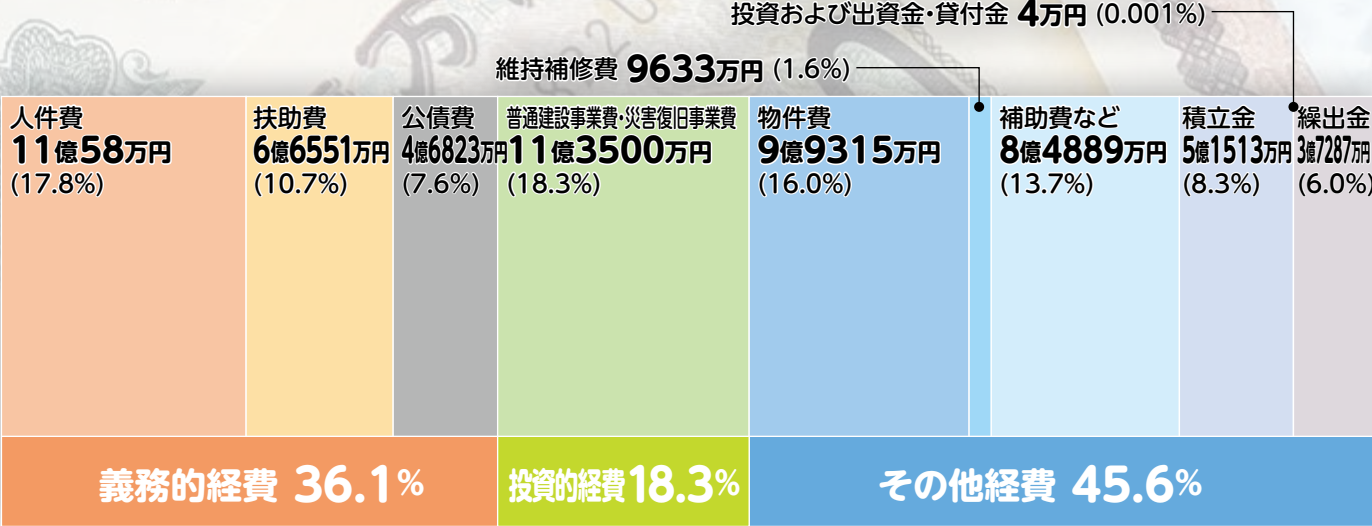
特別会計 歳出決算額(主なもの)

国 民 健 康 保 健	8億6525万円
介 護 保 険 事 業	8億7050万円
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1億2005万円
育 英 事 業	483万円
びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理	619万円

歳入決算 65億1528万円 前年度比 1億2981万円 増

歳出決算 61億9572万円 前年度比 5億1924万円 増

一般会計歳出



一般会計 歳出（性質別）

義務的経費	人 件 費	議員の報酬、職員の給与、会計年度任用職員の報酬・給与、消防団員等の非常勤の報酬などの経費	11億 58万円
	扶 助 費	児童福祉法などの法令に基づいた児童手当などの支給、町が単独でおこなう各種扶助のための経費	6億6551万円
	公 債 費	町債の元金および利子などを支払うための経費	4億6823万円
投資的経費	普通建設事業費	道路、橋梁、学校、庁舎など公共施設・公用施設の建設事業に必要とされる投資的な経費	11億2920万円
	災害復旧事業費	大雨、暴風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費	581万円
その他経費	物 件 費	町の経費のうち、消費的性質を持つ経費	9億9315万円
	維持補修費	道路、公共施設などを維持補修するために必要な経費	9633万円
	補助費等	町から他の地方公共団体(県、市町、一部事務組合など)や民間団体、個人に対して交付する経費	8億4889万円
	積 立 金	財政運営を計画的に執行するため、目的別や年度間財源調整のために積み立てる経費	5億1513万円
	投資および出資金	財産を有利に運用するための国債などの取得や、公益上の必要性による会社の株式の取得などに要する経費	4万円
	貸 付 金	地域住民の福祉増進や地域の振興を図るため、町が直接あるいは間接に現金の貸付をおこなうための経費	
	繰 出 金	一般会計、特別会計および基金の間で相互に資金運用をするもの	3億7287万円

水道事業会計

収 益 的 収 支	
収 入	3億9781万円
支 出	3億 105万円
資 本 的 収 支	
収 入	5364万円
支 出	2億2331万円

下水道事業会計

農業集落排水を統合し経営の健全化、財政状況の明確化

収 益 的 収 支	
収 入	4億2050万円
支 出	4億1174万円
資 本 的 収 支	
収 入	1億4061万円
支 出	2億5857万円

※歳入・歳出の予算項目は端数を四捨五入しているため、合計をしても総額と相違が出る場合があります。あらかじめご了承ください。

総務常任委員会

9月11日

総務常任委員会に付託された認定案3件の審査結果

認定②

令和5年度多賀町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	9億1796万円
歳出決算額	8億6525万円
次年度繰越金	5271万円

多賀町では、高血圧症や脂質異常症の医療費が県平均より高く、生活習慣の見直しと適切な医療の推進が重要な課題である。これにより、疾病予防と医療費の削減を目指す必要がある。

問:ジェネリック医薬品の使用率は。

答:約78%で県目標を少し下回っている。使用率向上に努めたい。

認定すべき

認定③

令和5年度多賀町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	8億8865万円
歳出決算額	8億7050万円
次年度繰越金	1815万円

令和5年度に「はつらつシニアプラン」を策定し、多賀町の元気な高齢者の長所を活かし、住み慣れた地域で健康に暮らせるように、適正な介護サービスの提供や介護予防の取り組み、住民啓発と地域づくりを推進する。

問:繰越金について、令和4年から5年で4800万円、令和5年から6年では1800万円と約3000万円減っているが、これは次年度に影響しないのか。

びわ湖東部中核工業団地



答:繰越金の減少は、介護給付費に対する国や県からの予想額が多かったためで、2600万円を返還し、残りを積み立てた。収支には影響しない。

認定すべき

認定④

令和5年度多賀町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	1億2180万円
歳出決算額	1億2005万円
次年度繰越金	175万円

令和5年度の医療費は、前年比1.4%減少。一人当たりの医療費は、前年比4.5%減少している。

認定すべき

産業建設常任委員会

9月12日

産業建設常任委員会に付託された認定案4件の審査結果

認定⑨

令和5年度びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	620万円
歳出決算額	619万円
基金からの繰入金	567万円
令和5年度末基金残高	3億2483万円

街路灯の修繕や緑地維持管理のための草刈りおよび樹木剪定委託料。

認定すべき

認定⑩

令和5年度多賀町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額	6903万円
歳出決算額	5637万円
令和5年度末基金残高	2億9627万円

人口減少による収入の減少、経年劣化に

よる施設の維持費の増加と厳しい財政運営ではあるが、経営健全化に努める。

問:農山村地域整備交付金の国と県の補助率について。

答:国50%、県10%で、合わせて60%の補助率。

問:工事請負費不用額618万円について。

答:地方公営企業法が適用され、3月31日で決算を閉鎖、本来、特別会計等の出納整理期間は5月までであり、4月・5月の支払いについても決算計上できたが、企業会計移行にあたって打ち切り決算という形となり不用額となった。

認定すべき

認定⑪

多賀町水道事業会計の利益の処分および令和5年度決算の認定について

水道事業収益額	3億9781万円
水道事業費用額	3億105万円
令和5年度末基金残高	25億3718万円

老朽化により、現施設の更新・統合・コスト削減・ろ過方式等の検討を行い、より安価で安定した給水の実現に努める。

問:未処分利益剰余金の処分について

答:未処分利益剰余金は16億7932万円と

なり、このうち、建設改良積立金へ5000万円を処分し、繰越利益剰余金を16億2932万円とするもの。

問:内部留保金の状況について

答:利益剰余金については、減債積立金、建設改良積立金、未処分利益剰余金を併せて5億5900万円ほどになっている。

認定すべき

認定⑫

令和5年度多賀町下水道事業会計決算の認定について

下水道事業収益	4億2050万円
下水道事業費用	4億1174万円
令和5年度末基金残高	20億1034万円

平成元年に事業着手して以来、当初計画した19集落から現在では23集落となり、維持管理・接続啓発に努める。

問:流域下水道維持管理負担金で1,996万円の増加となっていることについて

答:増えた要因として、一般排水は減っているが特定排水が増えたこと、排水量と不明水の増加で維持管理負担金が増えている。

認定すべき

足腰シャキッと教室



はつらつシニアプランのパンフレット



総務常任委員会

7月18日

閉会中の総務常任委員会調査結果を報告

委員4人と、執行者側から町長、課長、課長補佐、係長が出席。調査では福祉保健課所管の事務について、以下の4項目に関する説明と質疑応答がおこなわれた。

1. はつらつシニアプラン

はつらつシニアプランは、第9期高齢者福祉計画および介護保険計画にもとづくもので、元気な高齢者を増やす介護予防の取り組みを目的としている。計画は3年に1度見直され、令和6年度から令和8年度の間に実施される予定。このプランは、地域で健康に暮らせるよう、健康づくり、生きがいくくり、活躍の場づくり、介護予防の推進に取り組んでいる。

問:介護保険の基準額6000円は平均額か

答:基準額は平均額であり、13段階に分かれている。所得の少ない方は月額1710円、所得の多い方は月額14400円である。

問:介護予防事業への参加や関心を持ってもらえる工夫は

答:基本的に相談に訪れた方に適した事業への参加を勧めている。また、事業計画策定前に65歳以上の全員にアンケートを実施し、その結果に基づき参加案内を送付している。健康意識を持ってもらうことが重要である。

問:はつらつ教室等の介護予防教室の受講対象者は

答:対象年齢は、65歳以上で、400～500人の予備軍の方が対象。その中で約20人が受講している。

問:介護保険料の滞納者はいるか。

答:介護保険料は原則年金からの天引きで99.9%の収納率であるが、年金が少額の方は口座振込または納付書によるため、一部滞納がある。

2. 保健事業

母子保健事業、予防接種事業、各種健康診査の受診状況、成人保健事業について説明がおこなわれた。

問:胃がん検診の内視鏡検査の病院指定は可能か

答:胃がん検診は、彦根市立病院、友仁山崎病院、豊郷病院、成美記念クリニックの4施設で受診可能で、50歳以上の偶数年齢の町民が対象。

3. 社会福祉事業

説明された事業には、多賀町民生委員・児童委員協議会、多賀町社会福祉協議会、保護司会、更生保護女性会、社会を明るくする運動多賀町推進委員会、多賀町日赤奉仕団、彦愛犬権利擁護サポートセンター、生活保護等の事業等について説明がおこなわれた。

問:民生・児童委員の人数は

答:現在34人が活動している。

問:保護司の人数は

答:4人。

問:社会福祉事業に青少年育成町民会議が含まれない理由は

答:事業は、予算を管轄している課で分担しており、青少年育成町民会議は生涯学習課の管轄となっている。

4. 児童福祉事業

児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、愛犬地域療養事業、多賀町次世代育成支援事業、低所得者の子

育て世帯への子ども加算給付金、出産・子育て応援給付金事業についての説明がおこなわれた。

産業建設常任委員会

7月22日

閉会中の産業建設常任委員会を報告

委員全員と、執行者側から企画課長、課長補佐、係長が出席。地域おこし協力隊の朝比奈遥氏に出席を求め委員会を開いた。

1. (仮称)結いの森公園整備事業について

1)事業工程について

令和2年度から公園用地測量、不動産鑑定、令和3年度にかけて各種団体の意見徴収・整備内容の検討をおこない、令和3年、令和4年度から、公園用地取得・設計・造成工事・造園工事・遊具設置へと進み、一般公開を令和6年7月27日、竣工式を令和6年8月8日との説明を受けた。

2)事業費について

公園整備事業費総額 2億8868

万円、財源内容については、交付金7200万円、地方債9720万円、一般財源1億1948万円であるとの説明を受けた。

問：結いの森公園の夜間トイレの施設について

答：日常の維持管理業務をシルバー人材センターにお願いする予定であり、午後5時頃に施設する。

問：その他維持管理業務について

答：シルバー人材センターの委託業務は、日常的な清掃や安全点検、草刈りが主な業務となる。芝生と

植栽の維持管理については、専門業者への別枠の委託業務発注を考えている。

問：せせらぎ水路に小魚を放流する計画について

答：学芸員に確認したところ、生態系の関係でこの辺りに生息していないものを持ち込むのをやめ、この辺りで生息している魚を持ち込むのが一番良いと指導をいただいております。相談しながら魚が住みやすい環境を作って進めていく。

業継続について

答：担当している事業に関して、新たな地域おこし協力隊の方に引き継いでいきたい。また、退任後、どのようにかわっていただけるかは今考えているところである。今年度も新たに協力隊1人の募集を予算化している。滋賀県立大学の教授からも空き家対策、酒蔵の事業の立ち上げに向けて準備中。

問：地域おこし協力隊の任期終了後の定住について

答：国では4年目以降の活動を支える支援のための補助金などがあるので、県に問い合わせ多賀町が受けられるかどうか検討をしていく。

はなく、ガソリン代をいただいている。

問：運転手の免許について

答：二種免許の必要はなく、安全講習を受講し、受講証にて運転をしている。

問：給食弁当の配達について

答：一人暮らしのお年寄りを対象に配達を計画したが、利用者が少ない状況。その理由としては自分1人だけのために弁当の配達をしていただくのは申し訳ないと思われるのが現状で、各集落の方や民生委員、社会福祉協議会の皆さんと連携をして、必要とされている方の声を聴きながら検討していく。

問：地域おこし協力隊の退任後の事



子ども議員が日頃の疑問を問う。

子ども議会では10人が質問をおこないました

子ども議会って？

多賀小学校、大滝小学校、多賀中学校から選ばれた10人の児童が、町政と議会の仕組みを学びました。



質問事項ページ

森 湖春 (多賀中学校1年)……10

◎多賀町内のスーパーについて

志連 彩莉 (多賀中学校2年)……10

◎多賀町のSDGsの取り組みについて

宮川 葵玖 (多賀中学校1年)……10

◎野生の動物と遭遇した時に気をつけること

茂森 咲良 (多賀小学校6年)……10

◎自転車での事故防止の取り組みについて

田平 実里 (多賀小学校6年)……11

◎多賀町の特産物について

森野 光華 (大滝小学校6年)……11

◎学校のタブレットについて

小山 珀虎 (大滝小学校6年)……11

◎グラウンドの芝生化について

鶴岡 左菜 (多賀中学校3年)……11

◎多賀町の教育費について

田中 桜奈 (多賀中学校3年)……12

◎なぜ、絵馬通りだけ消雪装置が設置されているのか

増田 陽 (多賀中学校2年)……12

◎高齢者が気楽に買い物できるように

多賀町内のスーパーについて

企業との協議を重ねていきたい

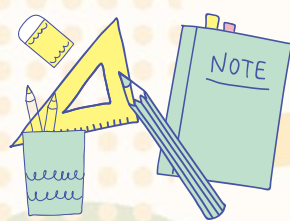
もり 森 湖春 議員 (多賀中学校1年)

問: スーパーがあれば、一度にいろいろな買い物ができ、高齢者にも便利です。買い物をしやすくする工夫はありますか。



企画課長

答: スーパーの存在は生活を便利にしますが、地域のニーズに合った規模と形態が重要だと考えます。



企業との協議を重ね、長く愛される施設を目指します。学校や家庭での会話からヒントを見つけたら、役場に教えてください。

多賀町のSDGsの取り組みについて

多賀町総合計画に基づき進めている

しれん 志連 あいり 彩莉 議員 (多賀中学校2年)

問: SDGsの15番「陸の豊かさを守ろう」に関連し、多賀町の木材活用例や、2030年までにSDGs達成が可能か教えてください。私たちができることも知りたいです。



町長



答: 多賀町の木材は学校の机や体育館、こども園の内装、出産祝いのセットなどに使われています。SDGs達成には、一歩ずつ行動し、身近な取り組みを続けることが重要だと考えています。

野生の動物と遭遇した時に気をつけること

威嚇せず静かに離れること

みやがわ 葵 議員 (多賀中学校1年)

問: 夜にランニング中、サルに遭遇し怖い思いをしました。多賀町にはシカやイノシシもいますが、野生動物に気づいてさける方法や共生のためにできることはありますか。



産業環境課長

答: 多賀町では電気柵や伐採など対策をおこなっているが、動物に遭遇した際は威嚇せず静かに離れることが重要で、音が鳴るものを持つと早めに気づかせることができます。動物の住む場所を守り、共生を目指すことが大切です。



自転車での事故防止の取り組みについて

交通安全教室について学校と相談

しげもり 茂森 さら 咲良 議員 (多賀小学校6年)

問: グリーンヒルで猛スピードの自転車や、多賀公園前での自転車の迷惑駐輪を見かけます。自転車事故防止策について、多賀町としてどう考えていますか。



総務課長

答: 交通安全は重要であり、自転車の運転者には交通ルール遵守と思いやりある運転が求められます。町では1日・15日や交通安全週間に地域と協力して



注意喚起をおこなっており、提案された回覧板や交通安全教室も相談していきます。

多賀町の特産物について

情報発信の方法検討

たひら 田平 みさと 実里 議員 (多賀小学校6年)

問: ふだん多賀町内で、特産物についての情報や売り上げなどを目にするのがあります。特産物や売り上げについての情報を周知する工夫があればもっと認知度も上がって、家で食べる人や買う人も増えると思うのですがお考えをお聞きます。



産業環境課長

答: 情報発信の方法を検討し、併せて町外の方に限らず、町内の方にも知っていたく仕組みづくりを進め、プレミアム感、付加価値を強調して、少々、高くても購入してもらえる仕組みを考えていきます。



学校のタブレットについて

令和8年の更新に向けて検討

もりの 森野 みはな 光華 議員 (大滝小学校6年)

問: 家ではipadを使っているため使いにくく、使い慣れていて、動作も早いipadではいけないのですか。また、買い換えの予定はないのかについてお聞きます。



学校教育課長

答: それぞれを比較検討した結果、コンピュータ教室の端末がWindows (ウインドウズ) であり、操作に慣れていることなどの理由から、令和3年2月にタブレットを導入しました。次に、導入から4年近くが経過し、令和8年の更新に向けて検討を進めています。

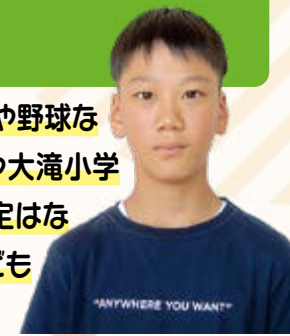


グラウンドの芝生化について

利用者の意見を聞きながら調査・研究

こやま 小山 はくと 珀虎 議員 (大滝小学校6年)

問: たくさんの子どもがサッカーや野球などで利用していますが、多賀小や大滝小学校のグラウンドを芝生にする予定はないのですか。また、たきのみやこども園が芝生化したのはなぜですか。



教育総務課長

答: 学校や地域利用者等の皆さんにご意見を聞きながら調査・研究していきたいと考えます。たきのみやこども園の芝生化については、自然いつぱいの環境で、元気に育ってくれることを目標として



た自然保育を目指していることから、園庭の整備をおこないました。

多賀町の教育費について

各教育関係費に活用

つるおか 鶴岡 さな 左菜 議員 (多賀中学校3年)

問: 学校教育費、社会教育施設の経費および、教育委員会が社会教育活動のために支出した社会教育費、教育委員会運営のための教育行政費について、詳しく教育費とはどのようなものなのか聞きます。



教育長

答: 主なものとして、学校教育費は、施設を管理する費用、教育環境の向上・充実を図る費用、教育活動費用であり、社会教育費は、施設の環境整備、維持管理費用、青少年の育成や家庭教育への支援事業費用。教育行政費は、教育振興を図るための費用であります。



なぜ、絵馬通りだけに消雪装置が設置されているのか

観光客や地元住民の
通行の安全を確保する

田中 桜奈 議員 (多賀中学校3年)

問：私は、3年間多賀中学校に絵馬通りを通して登下校をしています。絵馬通りでは冬になると消雪装置から水が出ます。なぜ、絵馬通りだけに消雪装置が設置されているのですか。



地域整備課長

答：絵馬通りには多賀大社へ、特に初詣期間がもつとも多く来訪され、この時期は積雪量の多い時期でもあり道路の安全確保のため、設置されました。

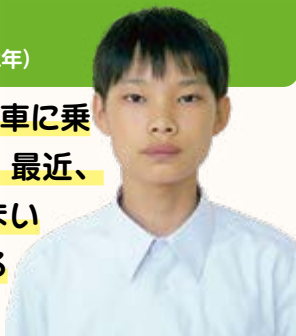


高齢者が気軽に買い物できるように

地域包括支援センターに
相談を

増田 陽 議員 (多賀中学校2年)

問：祖母は足が悪く、自転車に乗ることが難しい状態です。最近、近所の商店が閉店してしまいました。高齢者が楽になるような計画があれば教えてください。



福祉保健課長

答：多賀町内には多くの集落に「福祉会」という組織があります。買い物には、「愛のリタクシー」があり、一緒に利用すれば、運賃が半額になります。まずは、「地域包括支援センター」に相談ください。



菅森議長の講評

10人の子ども議員の皆さん、ご苦労様でした。今日は多賀小学校2人、大滝小学校2人、多賀中学校6人の選ばれました皆さんは、日ごろ思っている素朴な問題と、身近に困っていること、多賀町の特産物また、環境、お金が何に使われているのかについての質問と、大変良かったと思います。

多賀町は山間地域が多く、獣害対策、買い物支援、交通の不便さなどは多賀町の大きな課題です。しかしながら、何をすることもお金がかかります。皆さんのお父さん、お母さんからいただいたお金をどのように有効に使うか、また本日、子ども議員の皆さんからいただいた質問事項などについても、その思いをしっかりと受け止めて実現できるよう、行政とともにすすめたいと思います。子どもからお年寄り、また、障がいのある人も、誰もが住みやすい多賀町を

目指して取り組みます。

本日は、町政と議会の仕組みを学んでいた、議会に関心を持ってもらう貴重な経験だったと思います。

長い夏休み、暑い日が続きますが体に十分気を付けて、事故がないように楽しい夏休みを過ごしてください。

最後になりましたが、傍聴されました保護者の皆さん、学校関係者、そして子どもたちの質問に分かりやすくお答えいただきました町長はじめ行政の皆さんにお礼申し上げます。

また、子ども議会開催にあたり準備、指導いただきました先生方、教育委員会に重ねてお礼申しあげ、私の講評とさせていただきます。



町政を問う。

9月定例会では9人が一般質問をおこないました

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をとに、町長や教育長などの方針を問うもの。ぜひ議会の傍聴にお越しください。



質問事項ページ

神細工宗宏……14

- ◎農産物等の直売所建設検討委員会の立ち上げは
- ◎多賀町老人クラブ補助金について

大谷 重温……14

- ◎動橋から多賀福祉会館の間の多賀小学校通学路の安全対策について
- ◎多賀町勤労者体育センターについて

山口 久男……15

- ◎勤労者体育センターについて
- ◎大阪・関西万博の子ども無料招待事業について
- ◎訪問介護について
- ◎町職員の地域手当について

小島 櫻……15

- ◎小中学校のタブレット端末更新について
- ◎多賀町子ども・子育て応援プラン2025について
- ◎中学生の部活動地域移行について
- ◎地域おこし協力隊について

近藤 勇……16

- ◎獣害対策、特に鹿対策の状況について

木下 茂樹……16

- ◎農業機械購入支援の機材拡大は
- ◎生前の親族確認に向けて

富永 勉……17

- ◎三和シャッター工業株式会社の操業開始について
- ◎(仮称)犬上川右岸道路整備事業の進捗状況について

川岸 真喜……17

- ◎拠点避難場所の現状と今後について
- ◎防犯灯について
- ◎観光DXの取り組みは

一之瀬浩治……18

- ◎農業水路、急傾斜地への対応状況について

(注)紙面の都合上○印の内容は掲載しておりませんが、一般質問の全内容は多賀町議会のホームページで公開しています。





農産物等の直売所建設検討委員会の立ち上げは
▼
**10名で構成する委員会を立ち上げ
9月20日初回会議を開催**

かみざい くむひろ
神細工宗宏

駅前のもんぜん市に私も行くが、半日の営業では来客者は近所に住む多賀町内の方が大半である。やはり人が多い場所でない、客数も少なく、多賀の生産者がもんぜん市に持ち込まれる数も限定的で、その結果、多くの品物は他市町の道の駅や野菜館等へ流れている。多賀ニンジンや多賀そば、そして、最近ではイチゴやシャインマスカットなどの商品が生産されているが、これらを地元の特産品とする為には、地元で販売実績を上げて、他の市町の販売所から受注を頂く事が必要であると思う。多賀町が本気で商品の特産化を考えているなら、観光客や他の市町から、買いに来ていただける直売所の建設を真剣に考え、進むべきである。

問①「地元生産者が販売できる直売所の建設に向けた検討委員会」の設置の現状を問う。

問②多賀町で収穫される産物を特産化する為、どの程度力を入れているのか事例を持っているか説明を。

産業環境課長

答①検討委員会を設置し、「農産物の普及、農産物の販路促進のため直売所の建設の検討をおこなう」ことを目的とし、農業者の代表として5名、多賀もんぜん市2名、多賀町農業委員会1名、東びわこ農業協同組合と滋賀県湖東農業農村振興事務所各1名、合わせて10名の方に委員就任のお願いをした。会議は、9月20日に、第1回目を開催し、現状と課題、出荷農家へのアンケート項目などを協議、検討いただいた。

答②多賀町の農産物で、特産化、特産物として定着しているのは、「多賀産米」、「多賀ニンジン」、「多賀そば」である。「多賀産米」では、「多賀のうまい米コンクール」を継続、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で高成績の方の指導を受け、付加価値のある「多賀産米」の取り組みを目指す。「多賀ニンジン」では糖度の高い良質なニンジンと好評であるが、酷暑の中・厳寒の中の厳しい作業となり、種子代の補助や国の交付金を活用し洗浄機・選別機の導入の支援を行う。「多賀そば」では、経営の安定のために国の交付金、毎年種子代の補助、受粉効果を上げる助成、また令和5年度にはコンバイン1台の購入を支援した。



いよりげし
動橋から多賀福祉会館の間の多賀小学校
通学路の安全対策について
▼
緑石の設置は困難

おおたに しげはる
大谷 重温

絵馬通りから動橋を渡って多賀福祉会館までの多賀小学校通学路の歩道の状況ですが、一部に緑石があるものの、半分以上が路側帯もなく、毎日多くの児童(422人中242人が利用)の安全が危惧される状況にある。

車の通行量も多く、いつ、テレビで報じられているような事故が起きないか、心配である。そこで以下の点について問う。

問①この様な道路の形態になったそもその理由は、一部地権者との交渉が上手くいかず十分な道路幅の確保ができなかったためと、聞いているが今でも地権者との交渉は、不可能か

問②現状のままで緑石の設置は可能か

問③緑石の設置が不可能な場合、ガードパイプ等の設置は可能か

地域整備課長

答①平成23年度に町道多賀月之木線の道路改良工事を施工し、現在の線形となったが、道路未整備区間の工事を実施するため、その後も地権者との接触を試みてきた。直近では、令和2年度に教育委員会と地権者との間で話をされたとのことであるが、用地買収が困難な状況に変わりなく、現在に至る。

答②現状のままで緑石の設置が可能かについては、隣接する民地への乗り入れ部分の工事を行う必要があるため、地権者との協議が必要。また緑石の設置により通行幅が狭くなり、車両の通行速度が逡巡する効果は期待されますが、車両同士の対向がスムーズにならず、通行車両の安全性が確保されず、また、児童の安全確保が懸念されるため、設置は困難と考える。

答③ガードパイプの設置が可能かについては、緑石と同様に設置は困難と考える。最後に、未整備区間については用地買収は行わず、令和7年度に現町道の中での安全対策を検討しており、併せて国への新年度要望をしている。なお、この部分での通学路の安全対策については、町道敷地内で、水路(側溝蓋付)を設置し、舗装及びグリーンベルトの明示により通学路の区分けを考えている。



勤労者体育センターの今後について
▼
**現状と課題を把握し、
検討を進めていきたい**

やまぐち ひさお
山口 久男

勤労者体育センターは1980年に建設され44年経過している。令和元年9月29日、雨漏れなどで閉館されており、現在はシルバー人材センターの事務所として使用されている。中央公民館駐車場敷地内に多賀町シルバー人材センター事務所新築工事が進められており、今年の12月15日が工期となっている。このことにより勤労者体育センターはその後空きとなる。以下の点について問う。

問①シルバー人材センター事務所の移転後の利用計画はあるのか

問②解体の予定はあるのか。解体にかかる概算費用はどの程度になるか

問③勤労者体育センターの延べ床面積は1520㎡であるが、周辺も含め総面積はどうか

問④跡地利用等の計画はあるのか

総務課長

答①②シルバー人材センター事務所移転後の利用計画はない。施設の老朽化に伴い、維持管理費がかかるため、来年度に解体を進める。解体費用は専門家の設計を経て、示したいと考えている。

答③総面積については、現体育館の敷地は3245㎡、隣接の空き地は2205㎡で、合わせて5450㎡。

答④多賀町の中心地であり重要な場所。今年度、職員で現状と課題を把握し、議会にも進捗を報告し意見を伺いながら取り組んでいく。

老朽化が進む勤労者体育センター



小中学校のタブレット端末更新について
▼
**多賀町GIGAスクール
推進会議で機能等を協議中**

こじま さくら
小島 櫻

令和3年に多賀町の小中学校に導入されたタブレット端末が令和8年に更新予定。3年間の端末の活用状況や効果について以下の4点を質問。

問①タブレットはどのように活用されているか。

問②高校で導入されている学習アプリのような取り組みは可能か。

問③不登校や特別教室の児童・生徒にオンライン授業環境整備は必要か。現状と計画は。

問④令和8年の端末更新についての検討状況は。

学校教育課長

答①タブレットは授業支援、資料配付、インターネット検索、作品制作に活用。夏季休業中はデジタルドリルで基礎定着や探究活動に役立てている。

答②AI搭載のドリルを導入し、個々のレベルに応じた学習が可能。プログラミング学習や発表用アプリも活用。

答③不登校の児童・生徒はオンラインで授業を受けられる環境が整備されている。

答④令和8年度の端末更新に向けて、多賀町GIGAスクール推進会議で機能を協議中。Windows、iPad、Google Chromeを比較し、教育効果やコストを考慮した端末選定を進めている。

写真はイメージ





獣害対策、特に鹿対策の状況について

近年での獣害では 鹿被害が甚大

こんどう いさむ
近藤 勇

伊吹山で何度となく地滑りが発生し、原因が鹿の食害と言われている。当町の霊仙山も同様にはげ山になっている。鹿の食害による被害で、米・そば・大豆・野菜など被害は甚大である。猿の被害より鹿の被害は甚大で生計に大きな打撃を与えているが、そこで、以下を問う。

問①生息数、または生息状況についての把握は。

問②農産物の被害状況の把握はしているか。被害に対する補填等対策の考えは。

産業環境課長

答①直近の頭数把握はできていない。令和元年度から令和5年度までに2104頭捕獲したが、減少していないと認識。生息状況、生態・習性を把握し獣害対策を見直す。

答②各自治会に照会を依頼し、報告をもって把握している。照会は毎年5月ごろにしており、305a、68万2千円の被害と推定される。新たな制度設計補助金制度は難しく、現行制度の小規模農地獣害対策補助金で対策を願いたい。農業経営者には農業共済組合の収入保険制度がある。



農業機械購入支援の機材拡充は

営農計画書に従い 制度趣旨に合わす

きのした しげき
木下 茂樹

本町の農業の維持・継承・規模拡大のため、令和3年度から『多賀町農業用機械等導入支援事業費補助金交付要項』が開始され、令和5年度までに20の個人、法人に交付されてきた。生産手段であるトラクター、田植機、コンバイン、乾燥機、その他町長が認める機械または装置となっているが、品質の向上と省力化を推進しなければ、後継者育成はできない。そのためには、機器類で色彩選別機とドローン導入が欠かせないと思われる。

そこで、補助金交付要項の項目拡大の対象を、広げられないか以下を問う。

問①受給資格者で未申請はあるか。

問②補助金対象者の機械使用状況の確認は。

問③園芸作物(野菜・果樹・花キ)などへの対応の可能性は。

産業環境課長

答①補助対象は耕作2.5ha以上、50%以上の受託で地区農業組合長の推薦、町税の滞納がないことが条件であり、個人と法人は26件で取得は20件、未申請は6件である。

答②営農計画書などで使用状況の如何を合わせて確認済み。

答③受託条件に困難性はあるが、園芸作物者が2人あり、今後、経営計画を伺い、制度趣旨に沿うようであれば見直す。



拠点避難場所の現状と今後について

状況に応じて 用途を区別し対応する

かわさし まさき
川岸 真喜

政府は「南海トラフ地震の臨時情報(巨大地震注意)」を29都道府県707市町村に呼びかけた。備蓄品の点検が進んでいる。

問①地域防災計画では「避難場所」とは一時的なもの、「避難所」は広域避難所と福祉避難所となる。用語の統合の問題点はあるのか

問②拠点避難場所は住民の自主避難で命を守るが優先であるが、避難の危険性から早期の拠点避難場所への自主避難者に対応できる体制があるのか

問③早期の自主避難か、自宅内避難に何らかの図は住民に提示できないか

問④町内の拠点避難場所はどこか。備蓄品は規模に応じて均等に配置されているか

総務課長

答①「拠点避難場所」は災害から命を守るための、緊急的な避難先として町が定め、「拠点避難所」は一定期間生活できるようにする施設で、用途を区別するために使い分け、「福祉避難所」は「ふれあいの郷」となる。「拠点避難場所」は3食程度の物資を町が備蓄し「拠点避難所」は一定期間生活ができる救援物資の活用もある。「避難所」としてわかりやすい工夫で対応する。

答②台風や豪雨は気象台の見通しを参考に、一時避難場所、拠点避難場所を開設して受け入れ体制を整えている。
答③多賀町総合防災マップを令和4年度に全戸配付し、避難行動をマニュアル化している。

答④拠点避難場所は、小中学校、中央公民館、B&G海洋センター体育館、滝の宮スポーツ公園体育館など11か所を指定し、備蓄品は各施設でも保管するが、防災倉庫で集中管理して拠点避難場所に搬入する。食料品は3食程度、避難者2800人程度の備蓄をしている。



三和シャッター工業株式会社の操業開始について

工場用地活用に向け 取組を要望

とみなが つとむ
富永 勉

びわ湖東部中核工業団地は、平成11年に完成し現在10社が操業している。未だ、3区画122700㎡を所有する三和シャッター工業株式会社は操業に至っていない。

町長が東京出張の際には、当社を訪問し強く要望されていると伺っているが、改めて次の点を伺う。

問①操業開始に向けての町の要望は。

問②三和シャッター工業株式会社の見解・意向は。

問③操業開始の見込みは。

町長

答①1日も早い操業開始を要望していく。

答②③新型コロナウイルス感染拡大の影響から、訪問は控えていたが、来年1月に訪問を予定している。多賀町の現状、多賀スマートIC、国道8号線バイパス、犬上川右岸道路のインフラ整備など、工場進出に有利な環境が整うため早期の工場用地活用に向け取り組みを要望する。





農業水路、急傾斜地への対応状況について

前向きに改修工事を検討

いちのせこうじ
一之瀬浩治



農業水利施設の老朽化が急激に進んでおり、また、各地で頻発する豪雨災害や、南海トラフ地震、琵琶湖西岸断層帯地震等の大規模地震がいつ発生してもおかしくない状況であり、農業水路、急傾斜地への対応状況について以下を問う。

問① 尼子池の改修工事が令和6年度、測量・調査・設計、令和7年度から堤体工事、取水施設工事、洪水吐工事と聞いている。現在、ゲリラ豪雨、大雨で敏満寺池ノ内小路の水路がオーバーフローと漏水とで、家屋への床下浸水が発生している状況。尼子池に続く水路の改修と拡幅工事は令和7年度の工事に含まれておりませんが、このことについて今後の対応は。

産業環境課長

答① 農業に必要な不可欠な施設ではあるが、反面、過大なリスクを持っており、老朽化の問題、また災害への備えとして、適正な維持管理が喫緊の課題。耐震性に問題のある「ため池」に尼子池が含まれており、早期の改修が必要と判断し、県営事業として改修を進めていただいているところである。

この改修工事では、堤体の改修、取水・吐水機能の改修が施工範囲内で、吐水機能を回復することで、吐水流量と貯水量の調整を可能とし、適正な管理に繋がる計画としているが、この吐水を受ける池ノ内小路の水路は40cm程度の側溝、生活排水との合流後は現場打ちの細い側溝となっており、そもそも吐水量と水路構造との整合が疑わしく、越流、水が溢れることが十分に想定でき、対処が必要と認識している。

早々に、対処を図りたいところであるが、既存水路の家屋側には石積みの箇所、幅員の狭い里道には上下水道管が埋設、給水管などの引き込みがあることなど雨水流域的、面的に考慮する必要があるため慎重に検討する。

人の暮らし、安全・安心な町づくりとして、このたびの件は看過できるものではなく、暗渠排水路の漏水も含めて施工方法や雨量換算などの技術的見解を求め、今後、対処方法を前向きに考えていく。

キュリー祭参列

鳥取県三朝町

8/3



万灯祭総踊りに参加

多賀大社前駅から多賀大社境内までの練り込み

8/5



結いの森公園竣工式

多賀結いの森の隣にオープン

8/8



平和のつどいに参加

多賀結いの森で開催

8/10



Activity 多賀町議会議員の活動報告 Report



日置市・多賀町、兄弟都市盟約40周年記念式典

8/6

多賀大社参集殿にて、日置市・多賀町の兄弟都市盟約40周年記念式典が、盛大に執り行われました。

日置市より永山市長、並松議会議長はじめ6名、多賀町から久保町長、菅森議長はじめ18名が列席しました。

日置市・多賀町の兄弟都市盟約40周年記念式典



これまでの歩み

昭和44年	多賀町にて、関ヶ原戦跡踏破隊の受け入れを開始
昭和59年	旧伊集院町・多賀町兄弟都市盟約を締結(旧伊集院町にて)
平成6年	兄弟都市盟約10周年記念式典(多賀町にて)
平成16年	兄弟都市盟約20周年記念式典(多賀町にて)
平成26年	兄弟都市盟約30周年記念式典(日置市にて)

関ヶ原戦跡踏破隊について

関ヶ原の戦いで、島津義久公率いる島津の軍勢が徳川方の敵中を突破し、鹿児島まで帰還した道中の苦労を偲ぶとともに、その忍耐、勇気、体力に敬意を表し、先人たちの生き方を学ぶため、昭和35年から毎年8月上旬に実施されています。

多賀町には、大垣方面から五僧峠を越えて、保月で休憩後、調宮神社での歓迎式ののち多賀結いの森に宿泊されています。



広報常任委員の活動報告

9/25

9/26

全国町村議会広報研修会に参加してきました

9月25日 「ニッショーホール」にて

研修テーマ①読まれる議会広報紙の作り方

研修テーマ②パッと伝わる議会広報紙に！

研修テーマ③「読まれない議会だよりに出す意味なし」

特に研修テーマ③の内容は、これからの広報紙の編集に大変参考になりました。埼玉県寄居町の議会広報特別委員会の鈴木詠子委員長による講演で、寄居町の広報紙はこれまで、数回にわたり、町村議会全国コンクール一位になっています。寄居町のホームページにアクセスして広報紙の編集の参考にしたいと思います。

9月26日 「国立国会図書館・アンテナショップここ滋賀」にて

東京都中央区日本橋の滋賀県のアンテナショップ「ここ滋賀」にて片山昇所長より丁寧な説明を受けました。

以上、2日にわたる有意義な研修でした。



もっと知りたい！ 調べて！議員さん！

いざという時のために！多賀町の防災対策

近年、各地で大規模な災害が発生しています。

山間地域の多賀町でも、万が一の災害に備え、安心して避難生活が送れるのか町の防災対策を見てみましょう。

●鈴鹿西縁断層帯地震が発生した時の想定 → 震度7

(ちなみに、南海トラフ地震が発生した時の想定は、震度5強～6弱)

●滋賀県地震被害想定結果から、多賀町の避難状況を想定した備蓄品を準備している想定 → 避難者 2800人

(町民の38%) × 3食分(1日分)

備蓄品倉庫主なもの(令和6年8月現在)

非常用トイレ(固めるタイプ) 8800回分

食料

パン(5年保存) 6040食

ご飯(アルファ米・おかゆ) 1799食

水

2ℓ 2600本

500ml 720本

その他

液体ミルク 30缶

生理用品 2700枚

ブルーシート 550枚

段ボールベット 50床

クッションマット 2560個

備蓄品として検討されているもの

おむつ(子ども・大人用)

災害時の備蓄品運搬(行政担当)

備蓄倉庫(あけぼのパーク多賀の向かい) → 各避難所に運搬

大規模災害時の「自助・共助の大切さ」

災害の規模が大きくなると、迅速

に支援することが難しくなります。

被災により、行政機能が麻痺するような場合もあります。阪神・淡路大震災で被災した方々のアンケート結果では、自助と共助の支援で助かった方が70%だったそうです。



防災訓練

(大滝小学校)

公助

行政機関等(消防・警察・自衛隊など)が守る
公的な救助・災害支援や復旧活動など・避難所の開設



防災訓練

(大滝小学校)

**「自助」の行動と、「共助」「公助」の
連携・協力はあなたの大切な命を守ります。**

共助

自分たちの地域は自分たちで守る

日ごろからの地域の連携が大切です。被災地では、住民同士の助け合いや協力が、避難の支援や避難生活の質を大きく左右します。災害時に備えて、地域の避難訓練や防災活動に積極的に参加し、ふだんからのコミュニケーションを大切にしましょう。いざというときの力になります。

自助

自分(家族)の命は自分(家族)で守る

発災後3日間乗り切れる人数分の備蓄(可能であれば7日分)
●水(1人分の目安 3ℓ/1日あたり) ●食料(1人分の目安 3食/1日あたり) ●災害用
トイレ(1人分の目安 5回/1日あたり) ●日用品(タオル・オムツ・生理用品など) ●懐中
電灯 ●ビニール袋やラップ・ビニール手袋 ●携帯充電器 ●ハザードマップ
必要なものを家族で検討し、書き出してみましょう。

議会を傍聴してみませんか？

議員や行政は、どんなまちづくりを考えているのか、
直接、見て、聞くことができます。

座席は21席。
途中入退場も可能、
予約も不要です!!
どなたでもお気軽に
お越しください。

12月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります

12月3日(火)	9:30～ 定例会開会	町長が町政報告と 議案提案をおこないます
12月4日(水)	9:30～ 一般質問	議員が町政について 質問します
12月5日(木)	9:30～ 一般質問	
12月19日(水)	13:30～ 定例会閉会	初日に提案された議案を 採決します



編集後記

酷暑の夏も終わり、秋風の吹くこの頃
となってきました。

今回の議会だよりは、9月に開催され
ました定例会、子ども議会を掲載させ
ていただきました。特に子ども議会で
は、子どもたちから見てくる学校内や日ごろ感じ
る問題・課題、町づくりについて真剣に取り組まれた
立派な議会でありました。私たち広報常任委員5人
も、9月25日に議会広報誌の編集について研修を
受け、皆さんに読んでいただける議会広報誌、身近
に感じられる議会広報誌になるよう受講させていた
だきました。今後とも皆さんのご意見、ご要望をお
聞かせいただき、よりよい議会広報誌になるよう努
力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

広報常任委員 一之瀬浩治

「こんにちは 議会です!!」第183号

発行/多賀町議会 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀324番地
電話 0749-48-8126 FAX 0749-48-8131 有線 2-2011

編集/議会広報常任委員会 多賀町議会ホームページ/https://www.town.taga.lg.jp/



多賀町議会ホームページ

QRコードを読み取るか「多賀町議会」で検索!!

多賀町議会

検索